

新年のご挨拶

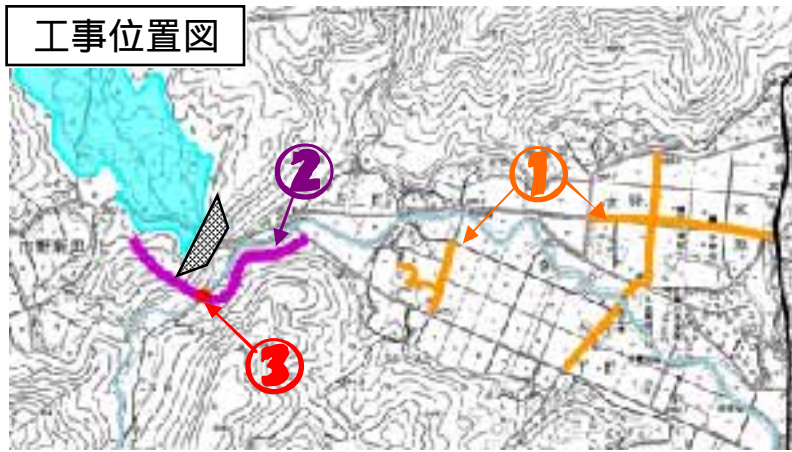


所長 河津宏志

平成23年の新春を迎え、心からお慶び申し上げます。昨年8月には、後谷ダム、栃ヶ原ダム及び善根・藤井頭首工など、これまで完成した施設を地元の柏崎土地改良区等へ管理委託することができました。今年以降は、市野新田ダム建設関係に専念することとなりますが、この農業用水源の確保と併せて、引き続き地域の振興・発展に寄与できるよう努めて参りたいと思っております。

さて、市野新田ダム建設に先立つ関連工事(付替市道工事及び付帯用水路他工事)は、関係者のご協力により、昨年末の降雪前に年内の工事を何とか終えることができました。23年度には、付替市道の全景が現地で見られる程まで工事を進めて行くこととしています。つきましては、今年も、昨年同様地元と丁寧な相談、調整しつつ工事を進めて参りますので、地元の皆様のご理解とご協力を宜しくお願いしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

工事の実施状況及び完了報告



工事位置図

付帯用水路他その2工事

女谷第一、第二水利組合用水管並びに宮原地区水道管の管理設工事を、平成22年内に無事終えることが出来ました。道路交通規制により地域住民の皆様にはご迷惑をお掛けしましたが、工事へのご協力に感謝申し上げます。

(今後の予定)

1~2月の降雪期間中は工事区間の交通規制を行います。また、この期間は現場事務所を閉鎖するた

第7号

平成23年
1月20日



発行元
北陸農政局
柏崎周辺農業水利事業所
柏崎市南半田18番15号
TEL:0257-24-5731

め、施工業者(株キムラ)へのご連絡は本社(TEL:0258-82-7311)へお願いいたします。

3月上旬にかけて、工事区間や工事で痛めた区間の車道のアスファルト舗装復旧を実施予定です。

付替市道その1工事(完了)

平成21年度から始まった工事ですが、平成22年12月で工事完了となりました。工事へのご協力に感謝申し上げます。



付替市道2号橋梁上部1工事

工場で作成したアーチ材を現場に搬入し、12月13日~17日の間、橋のアーチ材の架設作業を行いました。



(今後の予定)

1月からは、アーチ材左右岸への盛土、そのための土留壁を施工します。盛土材(碎石)の搬入は市道柏崎21、257号線を利用しますので、ご理解とご協力をお願いします。



壁の一部を造り、土を盛ります。

ダム堤体の構成

市野新田ダムは、水を安全に貯めるため、それぞれが役割を持った複数の層(ゾーン)で構成されています。また、より水を貯めやすいように、強い岩盤の上にコアゾーンを置くため、層が斜め(傾斜遮水ゾーン型)になっています。ここでは、これらの層の役割について紹介します。

コアゾーン

貯めた水をせき止める役割を持ちます。

このため、水を通しにくい土等を材料とし、水の力が大きくなる底の部分では、約19m

の幅になります。

半透水性ゾーン

コアゾーンを支えるとともに、ダム堤体を安定させます。材料には、ダム近くで取れる岩等を使います。

フィルターゾーン

コアゾーンの土が半透水性ゾーンに流れこむことを防ぐための層です。比較的水を通しやすい層であり、染み出た水を安全に流下させる役割もあります。

リップラップ

ダムの水が波立つことにより、ダム表面が削られることを防ぐために、頑丈な岩石を張り付けます。ちよつと、河川や海岸に造られる護岸ブロックのような役割をします。